

長時間つけても苦にならないサポーター

パテックス機能性サポーター

日常生活を補助してくれる、ふだん使いのための新しいタイプのサポーターとは。第一三共ヘルスケアとワコールが共同で開発したという「パテックス機能性サポーター」がそれだ。第一三共ヘルスケア、マーケティング部の酒井憲一氏、研究開発部の開発啓之氏に話をうかがった。

「サポーターという製品は、スポーツ用から医療用、日常用まで幅広くあります。私たちが目指したのは、とにかく着けごち。着けていることすら意識しない快適

性を備えたサポーターでした。もちろん機能的にも、これまで以上の安定感をめざし、さまざまな工夫を凝らしています」

インナーウェアメーカーであるワコールと共同開発したのはなぜだろう。

「弊社では、スイッチOTC（医療用と同じ成分を配合した一般医薬品）をはじめとした一般医薬品、機能性スキンケアなどさまざまな健康をサポートする製品の企画をしております。そんな折り、ワコールさんからサポ



ひざ用
男女共用：2,100円（メーカー希望小売価格：税込）

腰用
男性用（黒）：6,300円（メーカー希望小売価格：税込）
女性用（ベージュ）：6,300円（メーカー希望小売価格：税込）
問い合わせ：第一三共ヘルスケアお客様相談室：03-5205-8331

ターに関する提案をいただきまして、それが当社の製品企画案とマッチしたのです。弊社のパテックスブランドのイメージと、ワコールさんのインナーウェアやコンディショニングウェアのノウハウ、アスリートから支持を受けているCWXブランドが融合することで、この製品が誕生したので

「機能性と謳う背景には、これまでのサポーターとは違う要素があるはず。

「ひざ用サポーターの上下部にナノフロントという超微細繊維の糸を使うことによって、ズレ軽減をしています。肌との接触部位にナノサイズの凸凹ができるため、大きなグリップ力を発揮するのでズレ防止に適しているのです。ロングタイプにしたことで、ひざ関節から大腿四頭筋までサポートすることができ、ひざ関節を安定させ、衝撃を緩和することができます。これまでのひざ用サポーターは、ひざ部分のみを支えるものが多く、太ももから全体をカバーする製品が少なかったのです」

機能性サポーターには、ひざ用のほかに腰用がある。腰用の特徴もうかがおう。

「腰用サポーターでは、ワコー

ルさんがインナーウェアの開発で培ったノウハウがとくに活かされています。4本の樹脂ボン、3D構造、3層構造により、安定性と快適性を両立しています。従来製品は、支えとなる部分が硬いものが多く、長時間装着すると痛みがでてしまうこともありましたが、柔らかい素材のボンとカットソーという縫製技術を組み合わせることによって、この問題を解決することができました。また、女性と男性では、体型が異なりますので、それぞれに対応する製品をご用意しています」

発売以降の、ユーザーからの反響はどうだろうか。

「おかげさまで、発売当初からかなり好評をいただいております。これまで、サポーターというと50〜60歳代以上の方が使うものというイメージがあったのですが、テレビCMの影響もあって、若い方からの支持も広がっております。初めてのサポーターとしても、おすすめしたい商品です」

スポーツのようなアクティブシーンから、立ち仕事という日常使いまで、まさに万能のサポーター。膝や腰に悩みのある方に、ぜひ使ってほしい製品だ。